



©高崎ちぐさ

第9弾

『ウィンザーの
陽気な女房たち』

(小ホール)

2001年5月11日～5月27日

演出：鴻上尚史

監修：蛭川幸雄

翻訳：松岡和子

出演：江守 徹 江波杏子

宮崎美子 ほか

9

第10弾

『恋の骨折り損』

(小ホール)

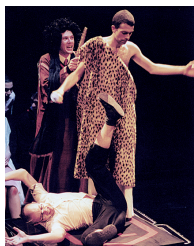
2001年7月20日～7月22日

OUDS (オックスフォード大

学演劇協会) 作品

監修：蛭川幸雄

演出：サム・ワス



©高崎ちぐさ

10



©高崎ちぐさ

第14弾

『お気に召すまま』

(大ホール)

2004年8月6日～8月21日

演出：蛭川幸雄 翻訳：松岡和子

ロザリンド/成宮寛貴 オーランドー/小栗 旬

前公爵/吉田鋼太郎 タッチストーン/菅野 菜保之

ジェイクイズ/高橋 洋 シーリア/月川悠貴

シルヴィアス/大石継太 ほか

14

宮廷を追放されたロザリンド。道化を伴い、従妹とともに男装してアーデンの森へと逃げ込むが、そこで相思相愛のオーランドーと再開する。彼女は、自分に気づかない彼に向かって、自分をロザリンドだと思って口説くよう持ちかける。オールメールシリーズ第1弾。



©高梨光司

第15弾

『間違いの喜劇』

(大ホール)

2006年2月3日～2月19日

演出：蛭川幸雄

翻訳：松岡和子

出演：小栗 旬 高橋 洋

内田 滋 月川悠貴

鶴見辰吾 吉田鋼太郎

蛭川哲朗 ほか

15

第16弾

『コリオレイナス』

(大ホール)

2007年1月23日～2月8日

演出：蛭川幸雄 翻訳：松岡和子

出演：唐沢寿明 白石加代子 勝村政信

香寿たつき 吉田鋼太郎 蛭川哲朗 ほか

<イギリス ロンドン パービカン・シアター公演>

16



©清水博季

第11弾

『ハムレット』

(小ホール)

2001年9月14日～9月28日

演出：蛭川幸雄

翻訳：松岡和子

出演：市村正親 篠原涼子

夏木マリ ほか

11



©谷古守正彦

第12弾

『ペリクリーズ』

(大ホール)

2003年2月19日～3月16日

演出：蛭川幸雄 翻訳：松岡和子

ペリクリーズ/内野聖陽

タイサ、マリナー/田中裕子

ガワー、女郎屋のおかみ 他/白石加代子

アンタイオカス、女郎屋の亭主 他/蛭川哲朗

ガワー、ライシマカス 他/市村正親 ほか

12

タイア (古代シリア) の領主ペリクリーズは、王家の秘密を知ったことで命を狙われる。逃亡中に妻を亡くし、娘マリナーとも生き別れ、悲嘆にくれる彼は世捨て人となる。月日は流れ、マリナーとの再会を果たした彼に、女神ダイアナの導きで奇跡が訪れる。英国でも上演、第3回朝日舞台芸術賞グランプリ、第11回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。



©高梨光司

第13弾

『タイタス・アンドロニカス』

(大ホール)

2004年1月16日～2月1日

演出：蛭川幸雄 翻訳：松岡和子

タイタス・アンドロニカス/吉田鋼太郎

タモラ/麻実れい

マーカス・アンドロニカス/萩原流行

サターニナス/鶴見辰吾

ラヴィニア/真中 瞳

エアロン/岡本健一 ほか

<再演> 2006.4.21～5.7

彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

<イギリス ストラットフォード・アポン・エイ

ヴォン公演、プリマス公演>

吉田鋼太郎 麻実れい 小栗 旬 真中 瞳

塚 晴彦 鶴見辰吾 ほか

13



©江川誠志

第17弾

『恋の骨折り損』

(大ホール)

2007年3月16日～3月31日

演出：蛭川幸雄 翻訳：松岡和子

出演：北村一輝 姜 暢雄

窪塚俊介 高橋 洋 内田 滋

月川悠貴 中村友也

須賀貴匡 ほか

17

第18弾

『オセロー』

(大ホール)

2007年10月4日～10月21日

演出：蛭川幸雄 翻訳：松岡和子

出演：吉田鋼太郎 蒼井 優

高橋 洋 馬淵英俣可

山口馬木也 塚 晴彦 ほか

18



©高梨光司